

連載：原点

## 影響

市川昂高等学校 藤田 悠人

小中高大，そして講師時代と多くの先生方と関わり，助けられ，様々な影響を受けて今年4月より市川昂高校に勤めることになりました。最初は昨年度の勤務校との違いに戸惑うことも多かったのですが，少しずつ慣れてきて，授業や生徒指導，来年つとめるであろう担任の仕事について，先生方にご指導をいただきながら試行錯誤の日々を過ごしています。

昨年，東葛飾高校で講師をさせていただいたとき，ノートの作り方がうまい生徒に許可をもらい，担当するクラスでそのノートを紹介しました。その生徒から授業アンケートで「うれしかったです。これからも数学頑張ります！」という言葉をもたらしたことが，教員を目指してよかったと思える出来事でした。

私自身，中学生のときに，数学の先生にノートの取り方を褒められたことがありました。ノートの取り方はクラスでも紹介され，私は恥ずかしながらも大変誇らしい気持ちになりました。そのことがきっかけで数学が一番好きな教科となり，授業にもより意欲的に取り組むようになりました。その後，高校に入学しても，数学が一番好きな教科であり続けました。私の高校時代の数学の先生で，数学に関する雑学等を授業外でも熱心に指導していただいた先生がおり，数学の楽しさ・奥深さを教えていただきました。そのような素晴らしい先生と出会い，私もその先生のように，数学が好きな人を増やしたい，数学の楽しさを伝えられる教員になりたいと考えるようになりました。

このように思い返してみると，私が教員を志す原点となったのは，数学が好きになったきっかけ，すなわちノートを褒められたことであると考えられます。教員となった今，この出来事を思い返してみると，よいノートをほかの生徒に紹介することはよくある指導の手段であり，その先生にとっても特別なことではなかったのかもしれませんが。しかし生徒であった私にとっては一生忘れられない大切な思い出であり，将来を決定する大きなターニングポイントであったと考えています。

人は少なからず他者に影響を与えるものですが，教員はそれがより顕著に現れる職業だと思います。また，教員の与える影響が，ときには生徒の人生の根幹に関わることもあることも私は自身で経験してきました。今後の教員生活の中で，私の何気ない言動が生徒の人生に影響を与えることがあるかと思います。自身の一言，一行動に細心の注意と責任をもつとともに，生徒の将来に何かよいきっかけ，影響を与えられる教員を目指して日々学び続けたいと思います。